

## スタンダード版

### 全般の機能

- Windows® デスクトップ、UNIX®/Linux® や Windows サーバ、IBM® System i プラットフォームとの、データの可搬性と相互運用性を実現
- EBCDIC/ASCII コードの相互変換 (シングルバイトの 10 言語に対応した変換テーブル)
- メインフレームからデスクトップへの転送時に便利な、PKSFX 自己抽出型 ZIP アーカイブファイルの生成
- シーケンシャルファイル、PDS、PDS/E、VSAM データセット、磁気テープの各ファイルハンドラをサポート
- 拡張されたファイルハンドルにより、最大 17 までの異なる RECFM をサポート
- GDG と GDG ベースのグループをサポート
- 非 SMP/E と SMP/E のどちらの環境へもインストールが可能
- 状況に応じたインタフェースで利用可能 (JCL によるバッチ処理、TSO コマンド、ISPF インタフェース)
- REXX、COBOL、アセンブラなど外部プログラムからの利用
- シミュレーションモードにより確認時のリソースを節約
- 32 ビット CRC エラーチェックにより、ZIP ファイルの整合性を検証
- デバイスの自動検出
- 既定の動作設定がカスタマイズ可能
- 統合されたヘルプ機能

### セキュリティ機能

- 統合暗号化サービス機能 (ICSF) と連携し、IBM のハードウェア又はソフトウェアベースの暗号化機能を強化
- UNIX システムサービスをサポートし、z/OS から UNIX/Linux や Windows システムへの直接読み書きが可能
- FIPS 140 準拠モードの搭載
- パスフレーズ(パスワード)による保護
- RSA® BSAFE® 暗号化エンジンにより、AES (FIPS 197 準拠) と 3DES アルゴリズムによる、ファイルとファイル名の暗号化が可能

### 圧縮機能

- テープ処理の拡張により、テープに対する読み書きに必要な I/O と経過時間を大幅に削減
- DCB 情報を保持したまま圧縮・展開
- ファイルサイズを最大 95% 縮小
- 9 エクサバイトを超える大規模サイズのアーカイブをサポート
- 複数の圧縮フォーマットをサポート
- GZIP 互換機能

## エンタープライズ版

### – スタンダード版にアプリケーション連携機能と高度なセキュリティ機能をプラス

#### 高度なセキュリティ機能

- 名前付きパイプを利用したアプリケーション連携機能により、保護されていない状態でのディスク上へのデータ露出を防止
- PKI 環境と非 PKI 環境の両方をサポートし、デジタル証明書を使用する暗号化とパスフレーズによる暗号化の使い分けが可能
- 各種プラットフォーム上の SecureZIP によって暗号化、署名された ZIP ファイルに対して、復号化と認証が可能
- ファイルのデジタル署名と署名の検証
- RACF、CA ACF2™、CA Top Secret® に対応し、秘密鍵は安全に格納
- 証明書失効リスト(CRL)チェックにより、ファイルの署名と暗号化の有効性を検証

#### ディレクトリ統合機能

- デジタル証明書が格納されている Microsoft® Active Directory® や iPlanet™ などの LDAP 準拠ディレクトリへアクセスし、共通名またはメールアドレスを元に、暗号化に必要な受信者の公開鍵を取得可能

#### システム最小要件

- IBM によってサポートされる z/OS のすべてのバージョン

ピーケーウェア・ジャパン  
株式会社

〒150-8512  
東京都渋谷区桜丘町26-1  
セルリアンタワー15階  
Tel 03-5456-5599  
Fax 03-5456-5511  
E-mail info-jp@pkware.com  
www.pkware.co.jp